

## アフターサービスについて

消火器についてのご質問やご不明な点がございましたら、お求めの販売店または下記最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

### 宮田工業株式会社 防災事業部

〒253-8588 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1 TEL (0467) 85-1211 (大代表)

札幌営業所 〒060-0001 札幌市中央区北一条西7-1 TEL (011) 231-6668  
(広井ビル3F)

仙台営業所 〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町4-4-35 TEL (022) 238-4771

北関東営業所 〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀10-8-1 TEL (048) 857-0711

東京営業所 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TEL (03) 3494-5821  
(TOCビル6F)

神奈川営業所 〒253-8588 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1 TEL (0467) 85-1229

静岡営業所 〒422-8034 静岡県静岡市駿河区高松2-5-10 TEL (054) 238-1061

名古屋営業所 〒480-1144 愛知県愛知郡長久手町熊田1211 TEL (0561) 62-9241

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-34-10 TEL (06) 6339-1128

中国営業所 〒733-0842 広島県広島市西区井口5-7-26 TEL (082) 276-5136

福岡営業所 〒812-0051 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭3-3-20 TEL (092) 641-0048

特機営業所 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TEL (03) 3494-5820  
(TOCビル6F)

# miyata

## 水（浸潤剤等入り）消火器 クリーンミスト SW-8 SUS

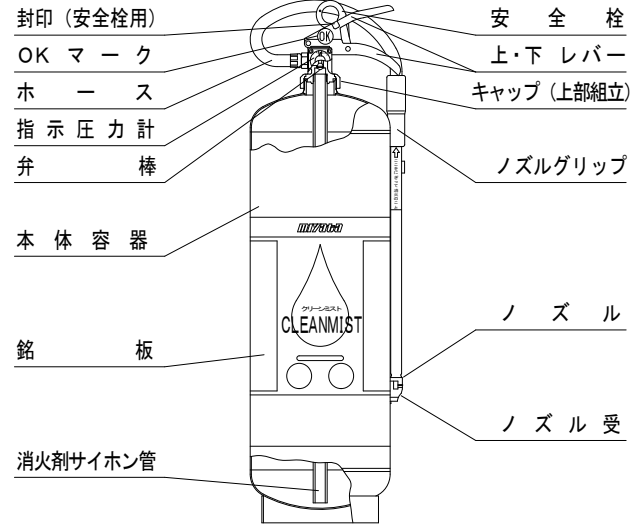
### 取扱説明書

このたびは、ミヤタの消火器をお求めいただきまことにありがとうございました。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

### 各部の名称



販売店

TS02351 06.03

### 適応火災

本消火器の適応火災は、以下のとおりになっております。

設置場所で予想される火災の種類に適しているものであるかをご確認ください。

#### 普通火災（A火災）

木材、紙、繊維等の燃える火災

白色のマーク **普通** 火災用

#### 電気火災（C火災）

感電の恐れのある電気製品、電気設備の火災

青色のマーク **電気** 火災用



油火災には使用できません

### 使用上のご注意

- 消火器の使用方法は、普段よりよく確認しておいてください。
- 安全栓を抜くときレバーを強くにぎらないでください。  
安全栓が抜けにくくなります。
- ノズルグリップをしっかりとぎって操作をおこなってください。  
ノズルグリップを持たずに操作したり、消火の途中で手を放すと、ホースが激しく振られて危険です。
- 電気火災に使用する際は、以下のことにご注意ください。  
・クリーンミスト消火剤の通電性は微少ですが、床や壁に飛び散った消火剤には不純物が混入し、これに触れると感電する恐れがあります。  
・ノズルの先端が、消火対象物の通電部分に触れないように注意してください。
- 油火災に使用しないでください。  
油を飛散させ、火災が拡大してしまう恐れがあります。
- 逃げ道を確保しながら消火を行ってください。  
火災により発生した煙やガスは人体に有害ですので、吸わないよう注意して消火を行ってください。
- 消火器は立てた状態で消火操作をおこなってください。  
横に寝かせた状態や逆さまの状態では消火剤が有効に放射されません。
- 屋外では風上から消火してください。
- 消火器を火の中に投げ入れないでください。  
消火器の本体容器内が高圧となり、破裂する恐れがあります。
- 火元に向けて最後まで放射してください。  
一度消火しても、また火がつく場合がありますので、最後まで火元に向けて全量放射してください。
- 消火器に強い衝撃を与えないでください。  
最悪の場合、破裂する可能性があります。また、破裂までに至らなくとも、圧もれにより本来の機能を発揮できなくなる場合があります。

### 使用方法 銘板に表示されている使用方法にて操作してください

- 消火器の上部より黄色の安全栓を上へ引き抜きます。
- ノズルグリップをにぎり、ノズル受けよりホースをはずし、ノズル先端を火元に向けます。
- レバーを強くにぎるとノズルより消火剤が放射されます。

1 安全栓を引き抜く



2 ホースをはずし火元に向ける



3 レバーを強くにぎる



※放射中にレバーをはなせば放射が止まります。

#### 消火方法

- 3m程度はなれた位置より、炎の下を手前から掃くように、ノズルを左右にふりながら放射して消火します。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

この表示は、してはいけない「禁止」内容です

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です

### 危険

死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- ⊘ サビ・傷・変形・キャップのゆるみのあるものは使用しないでください。  
消火器を作動したとき、サビや傷等により弱くなった部分が圧力により破裂する恐れがあります。
- ⊘ 電気火災において、ノズル先端を通电中の電気設備等に接触させないでください。  
ノズル部分は金属製であるため、感電する恐れがあります。

### 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

- ⊘ 人に向けて放射することは絶対にしないでください。  
消火器から放射される消火剤が直接顔に当たると、呼吸困難や失明等の恐れがあります。
- ⊘ 消火の際、火元に近づき過ぎないでください。  
火傷の恐れがありますので、炎より3m程度はなれたところから消火を始めてください。
- ⊘ 電気火災の際は、床や壁に飛び散った消火剤には触れないでください。  
不純物が混入しており、触れると感電する恐れがあります。

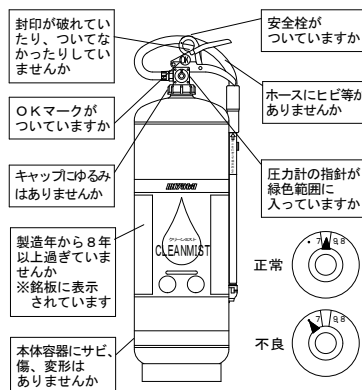
### 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

- ⚠ 定期的に点検を実施してください。  
消火器の点検をしなかったことにより、火災の時、消火器が使用できない恐れがあります。
- ⊘ 製造年から8年以上過ぎたものは使用しないでください。  
製造年から8年以上過ぎたものにあつては、消火器が性能劣化、腐食している恐れがあります。
- ⊘ 油火災には使用しないでください。  
油を飛散させ、火災が拡大してしまう恐れがあります。

## 維持・管理について

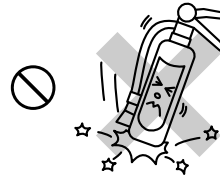
- 消火器を柔らかい布で、時々掃除してください。  
水分、油分、塩分、ほこり等が付着していると腐食等の性能劣化をおこし、永くお使いいただけません。  
●汚れのひどいときは、固くしぼった雑巾でふき、乾いた布で仕上げてください。  
●消火器の掃除に、ベンジン、シンナー、ガソリン等は使用しないでください。
- 消火器のネジなどをゆるめないでください。  
●消火器の部品（キャップ、ホース等）をゆるめたりすると破裂事故につながる恐れがあります。  
●消火器の機能点検・整備は、消防法の規定により、消防設備士の資格を有する者だけが行える業務とされています。お求めの販売店にお申し付けください。
- 消火器のためし放射はしないでください。  
圧力が低下し使用できなくなります。
- 6ヶ月に一度、外観の点検をしてください。  
以下の項目で異常がある場合は速やかに販売店に連絡し、機能点検、整備等の処置を行ってください。  
※法的義務設置をしている場合は、消防法に基づく定期点検を実施してください。  
※異常の状況により下記のような内容が想定されます。



異常の状況	想定される内容
安全栓がない	使用済の恐れ 誤放射する恐れ
OKマークがない	使用済の恐れ
キャップにゆるみがある	破裂する恐れ
ホースにヒビがある	破裂する恐れ
本体容器にサビ、傷、変形がある	破裂する恐れ
封印が破れている、ついていない	使用済の恐れ
製造年から8年以上すぎている	性能劣化、腐食の恐れ
圧力計の指針が緑色範囲に入っていない	使用できない恐れ

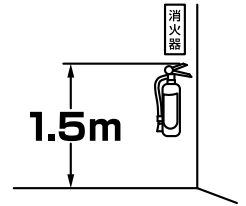
## 設置について

- 適応火災をよく確認して設置してください。  
適応性については「適応火災」の項を参照してください。
- 設置する環境により、以下の点にご留意ください。  
●0～+40℃の使用温度範囲内の環境に設置してください。  
・0度を下回る可能性のある場所では、保温や加温の措置をとり、消火剤の凍結を防止してください。  
・+40度を超える場所には設置しないでください。容器内の圧力が高くなり危険をともないます。  
●設置環境に注意してください。  
直射日光や風雨にさらされる場所、湿度の多い場所、海岸の近くで潮風が当たる場所、化学工場地域や温泉地帯で腐食性ガス（硫化水素、亜硫酸ガス、塩素ガス等）の発生のある場所では、格納箱に収納するなどの防護処置をしてください。
- 通行や避難に支障がなく、万一の火災時に目につき、すぐ持ち出せる場所に設置してください。
- 消火器が地震や震動等で転倒したり落下しないよう設置してください。



### 5. 設置方法

- 壁掛け等の設置では、フック等を用いて高さ1.5m以下に設置してください。



- 床に設置する場合は、設置台を使用してください。

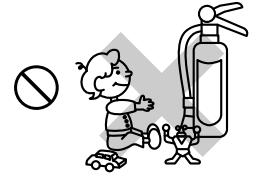
消火器の底部スカートによる床の傷付きや、ゴムホース等の樹脂部品による建材への影響等が予防できます。

※壁掛け用フック、設置台、格納箱については販売店にご相談ください。

### 6. 物が落下してこないところに設置してください。

### 7. 幼児の手の届かないところに設置してください。

消火器を小さなお子様がいたずらしますと大変危険です。小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、誤って使用しないよう十分注意してください。



## 使用後の処置について

- ガスコンロ、ガス器具等の火災では、消火後速やかにガスの元を締めてください。
- 電気設備、電気器具等の火災では、電源を遮断してください。
- 消火剤が目に入ったときは、速やかに水洗いし、目に痛みを感じたり充血した場合は医師の診察を受けてください。
- 消火剤がかかった食物は食べないでください。  
消火剤を故意に飲んだりしないでください。
- 消火剤がかかった電気機器は電源を遮断してから掃除を行ってください。また、電気絶縁性が低下している恐れがありますので、専門の業者に点検を依頼してから、通電してください。
- 使用後の消火器は速やかに販売店に再充てんを依頼し、元のよう設置してください。  
●外観・機能に異常がなければ再充てんして使用できます。お求めの販売店にご相談ください。
- 不要になった消火器は販売店に廃棄を依頼してください。  
●消火器を勝手に捨てたり、放置すると、誤って使用された場合破裂事故につながる恐れがあります。  
●消火器の処理は有料となっております。あらかじめご了承ください。